

障がい福祉サービスの定率負担は、所得に応じて次の4区分の月額負担上限額が設定され、ひと月に利用したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じません。

所得を判断する際の世帯の範囲は住民基本台帳での世帯が原則ですが、住民票で同じ世帯となっても税制と医療保険で被扶養者でなければ、障害のある方とその配偶者を別世帯の扱いとすることができる。

(厚生労働省資料より)

Table with 3 columns: 区分, 世帯の収入状況, 月額負担上限額. Rows include 生活保護, 低所得1, 低所得2, 一般.

障害者が自らの負担に支えられ、自立した生活を送ることができるように支援する。

受給者証にはこんな事が書いてあります

支給決定の内容表. Columns: 短期入所, 共同生活援助, 利用者負担割合, 利用者負担上限月額. Includes notes on special provisions and (予備) notes.

5月の定例会 5月7日(日). Rows: 定例会, 利用者さんから学ぶ, 児童デイ定例会.

4月の予定

- 1日(土) 会報「まごころ」発行
2日(日) 定例会
4日(火) ミニデイサービス
5日(水) サービス提供責任者会議
6日(木) ふれあいサロン
7日(金) 市民協幹事会
11日(火) ミニデイサービス
12日(水) サービス提供責任者会議
13日(木) ふれあいサロン
18日(火) ミニデイサービス
19日(水) サービス提供責任者会議
20日(木) ふれあいサロン
24日(月) 児童デイ事務局会議
25日(火) ミニデイサービス
26日(水) サービス提供責任者会議
27日(木) ふれあいサロン

2月の支援費活動表. Columns: 訪問件数, 身体介護, 家事援助, 移動介護, 日常生活支援, 合計.

2月の会員登録表. Columns: 協力会員, 利用会員, 賛助会員, 合計.

2月の介護保険活動表. Columns: 利用件数, 生活援助, 身体介護, 合計.

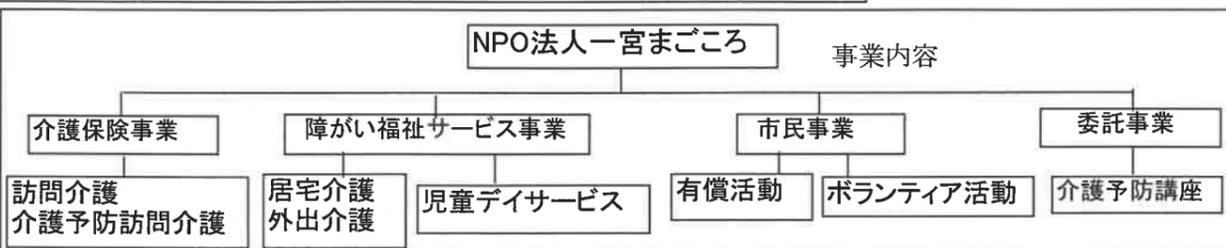
2月の助け合い活動表. Columns: 有償活動件数, 有償活動人数, ミニデイサービス利用者, 移動サービス利用件数, ふれあい広場利用回数, 助け合い活動時間, 補助事業.

2月児童デイ(午前)表. Columns: 児童デイ開所日, 延べ参加人数, 参加人数/日.

*支援費児童デイサービス表. Columns: 毎週月水木金, 毎週水金, 毎週土, *中高年のピアノ教室, *中高年の体操教室, *ふれあい広場でお茶.

お願い
今年も恒例の「まごころふれあいまつり」を行います、バザーを開催いたしますので、バザー用品のご協力をお願い致します

春なのに
3月29日夜から30日にかけて、大きなボタン雪が降りました。久しぶりに雪景色を楽しめました。



まごころ

URL http://www.owari.ne.jp/~magokoro

平成18年4月1日 特定非営利活動法人
No. 154 一宮まごころ
〒491-0041 一宮市文京1丁目4-6
Tel. 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870
メールアドレス magokoro@owari.ne.jp

法人名が

特定非営利活動法人(NPO法人)

一宮まごころにかわりました

平成18年4月1日より

平成18年4月1日より上記のように法人名を変更いたしました。新しく「一宮まごころ」と改名し、活動を続けて参ります。末永いご支援をお願いします。

新しいチラシが出来ました

安心の窓口をイメージしたものになっています。ご一読下さい。



新年度になりました引き続き会員登録をくださいますようお願いいたします

ごあいさつ

代表 諫山 和敏

私は前代表の後を受けて特定非営利活動法人一宮まごころの代表を引き受けることになりました。

まごころは「高齢者や障がい者が生まれ育った地域で安心してふつうに暮らすことができるように」という理念の元に結成された団体です。さらにNPO法人格を取得して充実した支援活動を継続してきました。

私はこの志を引き継ぐためにこの大変な職を引き受けたのです。

そんな私たちの思いを否定するかのようになり今度の制度の改正は会の存続をも危うくするものがあります。

障がい福祉サービスにおける介護給付費の1割負担と介護給付単価の引き下げは利用者さんと共に事業者にも大打撃を与えています。

4月からの児童デイサービスの予約は減少傾向を見せ初めており、すでに影響が出ております。

障がい児童の将来に向けて、あれもこれもと計画をしていた矢先の制度改正は

私たちの出鼻をくじくものでもありました。介護保険でも予防介護へ移行する利用者が増えそうです。

ケアマネジャーを持たない事業所にとって支援させていただく利用者さんを増やすことは大変難しくなってきました。いいケアをしていくという地道な努力をしていくしかありません。

安心の窓口を続けることこそ、高齢者・障がい者(児)への支援につながると実感しております。

まごころを利用していただけの方が増えて、しかも喜んで頂ける方が増えますようにこれからも質の向上をはかっていきます。

制度変更の度に「地域の為に頑張るNPOをつぶす気か」と叫びたくなりますが、まずはスムーズな引継ぎをはかりながら、まごころが目指している高齢者や障がい者(児)への支援を今まで通り続けたいと考えております。

みなさまのご指導とご支援を宜しくお願い致します。